

鴨庄の干潟耕転について

日 時 : 平成 28 年 2 月 13 日 (土) 7:30~9:00

活動場所 : 鴨部川河口西側の白方海岸 (干潟)

参加人数 : 約 60 人

鴨部川河口に近い鴨庄白方地区の白方海岸で、干潟耕転が実施されました。泥を掘り起こすことで、泥中へ空気を届け、泥に含まれる栄養分を循環させ、生物が生息するのに適した環境をつくるのが目的であり、鴨庄漁協や地元自治会で構成する鴨庄漁協活動組織が、水産庁の補助を受け、3年間続けているものです。

今回はおよそ 60 人の方が参加し、干潮時刻に合わせ早朝から鍬などで干潟を耕しました。干潟を掘り返すと真っ黒い泥が現れました。これは、酸素不足で黒くなっているそうです。耕転作業と並行して干潟の生物を調査し、貝やエビ、カニなどが見つかりました。また、砂に囲まれて小さなラグーンのようになったところには、アマモや海藻が生えていました。干潟の生態系などについて調査するため、徳島文理大学の水野先生やレインボーの会の学生さん、香川大学の先生なども来られていました。(県も干潟耕転の効果について水質調査をしました。)

来年度も活動を継続されるとのことですので、この活動によって豊かな生態系が戻ってきてほしいと感じました。



耕転作業の様子①



耕転作業の様子②



掘り返すと真っ黒でした



貝やエビが見つかりました



調査をする学生さん



アマモも育っていました